

# 橘ときわっ子

学校だより第22号  
令和6年3月14日  
武雄市立橘小学校  
校長 坂井 文明



— やればできる みかけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT活用教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

## 学校運営協議会・令和5年度を振り返って

3月1日(金)に、第3回学校運営協議会がありました。給食参観及び会食をした後、コミュニティ・スクールの取り組みや学校評価についての報告と協議を行いました。

「学校の友達と先生との和」「家庭との和」「地域との和」の三つの和を大切にしながら、協力いただきながら、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら、やさしい子・かしこい子・たくましい子を育ててきたこと、落ち着いた規則正しい生活が送れるように「あいさつ」「返事」あたりまえのことがあたりまえにできる凡事徹底、名前札、体育館への入退場、トイレのスリッパ・靴箱などをそろえていること、志を高める教育と教育の環境整備、情操教育、人や地域を思いやる力を育てていることなどについて報告しました。

令和5年度学校経営を大きく振り返ると、主に下記の成果がありました。詳細は、別紙配布の学校評価をご覧くださいいただければと思います。アンケートのご協力とご支援誠にありがとうございました。次年度の計画に参考にさせていただきます。

### (1) 確かな学力を育む教育活動の推進

- 「ICTの効果的な活用ができています」と回答した職員は、82%であるが、校内研の研究授業では、すべての職員が活用できた。学校全体の単元別テスト到達度平均は、88%と下期2%の学力向上があった。

### (2) 豊かな心を育む教育活動の推進

- 保護者の100%が「学校は地域に根ざした特色ある教育を行っている」「学校は一人一人の子供を大事にしている」と回答しており、強力な「三つの和」により自己肯定感が高まり、QUテストの満足群の全校平均も61%から67%と6%上昇した。

### (3) 家庭・地域との連携強化

- 育友会や地域、関係機関及び部会組織と協議を進め、花まるタイムでは、毎回、20名から30名の支援をいただきながら、予定している行事や教育活動を100%行うことができた。運動会や相撲大会、ときわ祭りも地域や育友会と改善を図っている。



## 6年生ありがとう集会

3月1日(金)に、「6年生ありがとう集会」が行われました。代表委員会で話し合い、「今までひっぱってくれた6年生に全校で感謝の気持ちを伝えたい」と開催されました。

- (4年生) 「6年生にささぐ、感謝・応援のメロディー」
- (1年生) 「6年生ありがとう」
- (2年生) 「6年生のキラリ」
- (3年生) 「6年生に送る思い出」
- (5年生) 「感謝～新しい学校のリーダーより～」
- (6年生) 「大好き 橘小学校」

1～3年は、かざり、4年は、花のアーチ、5年は、6年生との思い出スライド作り、全学年でプレゼントを準備しました。司会は、計画・集会委員会、入退場の曲は、4年、お花飾りは、広報ボランティア委員会が活躍してくれました。それぞれの思い出を胸に、6年生は中学校へ1年生～5年生は、次の学年へステップアップして、はばたいてほしいと思います。



## 第77回橘小学校 卒業証書授与式

3月15日(金)は、第77回卒業証書授与式です。卒業式のねらいに「在校生は、厳粛な式での規律を知り、卒業生を祝福すると共に本校の伝統を受け継ぐ意識を高めさせる。」とあります。本年度は新型コロナウイルス感染症が、5月8日より季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行したことにより、来賓の皆様、保護者の皆様、職員そして在校生も参加しての卒業式です。みんなで27名の卒業生を祝福したいと思います。

橘小学校は、明治8年以降、149年目を迎え、令和6年度は、150年目を迎えます。長い歴史と伝統を味わいながら、ふるさと橘町の人のぬくもりや自然を財産として、橘町への感謝の心を忘れることなく、自分の夢を実現し、また、夢を与え、ふるさと橘愛を忘れずに大きく成長してほしいと願っています。

